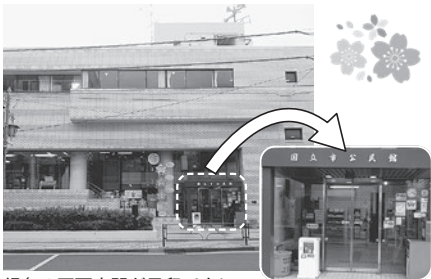


花咲く季節に、新たな1歩を踏み出してみませんか？

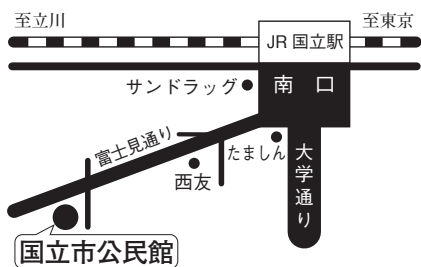
公民館なら“できること” ～つどう、まなぶ、つながる～

国立市公民館は市民の自主的な文化・学習活動、仲間づくりなどを支援する社会教育施設です。誰もが自由に共に学ぶことができるよう、会場の利用や講座への参加は無料です。

公民館によろこそ！

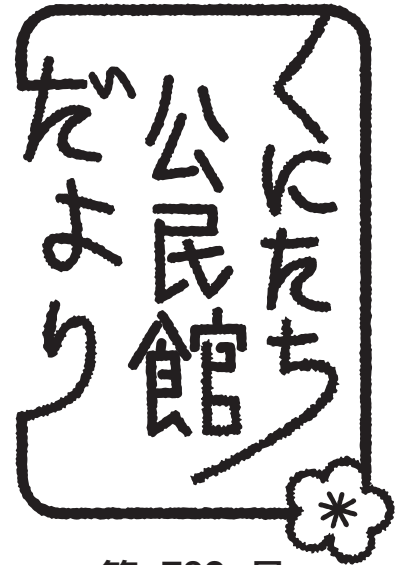


緑色の正面玄関が目印です！



開館時間：朝9時～夜10時
受付時間：朝9時～夕5時（祝日を除く）
休館日：月曜日・年末年始
（祝日も開館しています）
交通手段：JR中央線 国立駅南口下車
徒歩約5分
国立市コミュニティバス「くに
っこ」北西中ルート、立川バス
「国立公民館」バス停すぐ

駐車場：一般利用駐車場なし。
しょうがいをお持ちの方、けがを
している方、妊娠している方等
のための「思いやり駐車場」が2台
分あります。利用希望者は受付ま
でお申し出ください。
駐輪場：建物裏にあります。公民館を利用
する以外の目的での駐輪はご遠慮
ください。



第 782 号

2025年4月5日
（令和7年）

「くにたち公民館だより」
デジタルブック▶



発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

公民館は開館70周年を迎えます

公民館長 清水 周



国立市公民館は昭和30（1955）

5）年11月3日に開館しました。以来70星霜、多くの市民の皆様や利用者、関係者に支えられて今日まで歩んできました。改めて感謝申し上げます。

公民館では、かねてより「つどう、まなぶ、つながる」ことができる中核的な社会教育施設として、市民の生涯学習を推進してきました。しかし、コロナ禍を契機に利用が減少し、それ以前の利用状況に回復していない現状があります。これまでも利用いただいている方にはこれまで以上に、また、利用をされる機会がなかった方には新たな利用につながるように、今回の『公民館だより』は「公民館ならではの“できること”をテーマに、「利用案内」を特集しています。ぜひ公民館利用の一助としていただければ幸いです。

4月には『公民館だより』を研究する講師を迎えた学習会を、8月には戦後の社会教育活動に活躍した16ミリ映写機「ナトコ映写機」による映画上映会を、9月からは市民と共に『公民館だより』集約版を読み合う機会を継続してきました。参加者からは、戦後の社会教育活動がどういったものだったのか、また、国立町において、公民館事業の幅が非常に広がったこと、市の施策に公民館が多く関わっていたことなどに驚きの声が上がりました。

プレ期間を経ていよいよ70周年本番となる令和7年度は、秋に式典や記念イベントを実施する他、公運審や市民文化祭実行委員会など、公民館活動に関わる様々な方と共に記念事業を実施していきたく考えています。もちろん市民有志の参加による『公民館だより』を読む学習会も継続していきます。

『公民館だより』や公民館ホームページ、その他SNSなどで広報をしますので、ぜひご参加いただきたく思います。

さて、70周年を迎える国立市公民館。人生で例えるなら「古希」。その古来稀なる歩みはどのようなものであったのか。これを改めて学ぶことから始めようと、令和6年度を「プレ70周年」と位置づけました。

公民館なら できること「つどう」

国立市公民館には、市民のグループ活動の場として無料で利用できる8つの会場があります。会場は1週間に1部屋を、最大4時間半使用することができます。

会場・備品の利用には、窓口での使用申込(本申込)が必要です。申込は使用月の前々月に申込書を1階正面入口にある会場使用申請ポストに投入していただき、前月第1土曜日実施の会場調整会にご参加いただくか、使用月の前月の第1土曜日(祝日の場合は翌日の日曜日)の午後2時から受け付けします。

また、電話で空き状況の確認、会場・備品の仮予約もできます。

会場・備品利用要件

- 3名以上のグループであること
 - 半数以上が市内在住、在勤、在学の方で構成されるグループであること
 - 営利に関わる活動ではないこと
- ※個人で主催する活動、指導者が生徒を集める教室等ではお使いいただけません。

会場・備品利用の詳細は、[公民館ホームページ](#)をご確認いただくか、[公民館窓口](#)にお問い合わせください。

より多くの団体が利用できるよう、利用希望を調整する「会場調整会」を行っています。詳細は右下の表をご確認ください。



←公民館
ホームページ
「会場利用」



ホールは音楽やダンス、講演などに使用できます。



調理ができる定員10名ほどの実習室もあります。少人数の会議等もできます。比較的「空き」が多い会場です。

公民館なら できること「つながる」

国立市公民館は、年間を通して活動のある講座での仲間づくりや、毎年秋に開催する市民文化祭での文化・学習活動の交流など、活動を通じて市民同士が「つながる」場所でもあります。

公民館だより巻末の「ひろば」欄では、市民グループが会員募集・イベント案内の記事を掲載できるほか、「サークル訪問」では取材させていただける団体を募集中です。

市民グループのお知らせも館内に掲示・案内しています。新しく何かを始めたい方や、仲間を募集している団体は、ぜひ公民館にお問い合わせください。



階段の壁面にサークル案内を掲示しています。掲載希望は窓口にお問い合わせください！



掲示板には会員募集やイベント案内のチラシを1か月間掲示することができます！

—6月分(ロビー7月分) 会場調整会のお知らせ—

申込書のポスト投入期間	4月5日(土)~17日(木)
予約の重なりがあった団体の掲示開始日 (公民館HPにも掲載)	4月19日(土) ▶重なり状況
会場調整会	4月26日(土)朝10時~ 会場：地下ホール ※第1週の土曜日ではありません。ご注意ください。

※会場調整会は朝10時までに受付を済ませてください。

会場申込の詳細はホームページをご確認いただくか、公民館にお問い合わせください。



▶申込方法詳細

★7月以降の予定

使用月(ロビー)	申込書のポスト投入期間	重なり団体掲示日	会場調整会
7月(8月)	4月26日(土)~5月29日(木)	5月31日(土)	6月7日(土)
8月(9月)	6月7日(土)~6月26日(木)	6月28日(土)	7月5日(土)
9月(10月)	7月5日(土)~7月24日(木)	7月26日(土)	8月2日(土)
10月(11月)	8月2日(土)~8月28日(木)	8月30日(土)	9月6日(土)

★「申込書」を提出していない団体の予約方法

- ・2階事務室での受付…会場調整会当日の午後2時~
 - ・電話での仮予約…会場調整会当日の午後3時~
- ※受付期間：午前9時~午後5時(月曜、祝日、年末年始を除く)

国立市公民館は、特に主催講座に力を入れています。

人権・平和・教育といった社会課題、しょうがいしゃ青年教室や日本語講座などの共生課題、地域史や防災などの地域課題、版画や身体表現といった創作表現、映画や文学などの文化芸術などの各分野で、年間を通してさまざまなテーマの主催講座を行っています。参加費は実費以外無料です。

それぞれ担当職員が熱意を込めて市民とともに企画・運営しています。ぜひ一度公民館の講座にご参加ください。

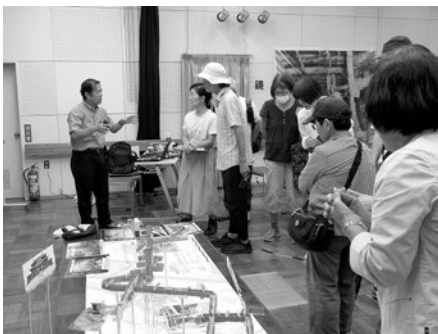
公民館なら できること 「まなぶ」

昨年度の講座の様子



公民館ホームページに、最新の講座案内や、これまでの講座情報を掲載しています。

↑ 公民館ホームページ「講座・催し」



「平和講座」資料とお話を通じて、戦争の歴史をまなび、平和について考えます。



「図書室のつどい」話題になった本の著者から直接お話を伺います。



「矢川プラス連携講座」ユースワークの学習会を開催しました。



「野鳥観察」昨年度はカワセミを見ることができました！



「紙版画ワークショップ」子どもの参加も大歓迎です！

個人でも利用できる空間

国立市公民館には、個人でも利用できる場所もあります。ぜひ気軽にお越しください。

1階市民交流ロビー

休憩や自習、友人とおしゃべりなど、個人でも自由にお使いいただける場所です。また、市民グループの作品展示にも使用していただけます。

公民館図書室

講座関連図書を中心に約25,000冊の蔵書があります。新聞や雑誌もありますので、お気軽におくつろぎください。



市民グループの展示がある期間は個人利用できる机や椅子の数は減りますが、互いに譲り合いながらご利用ください。

ロビー奥にある「喫茶わいがや」。丁寧にハンドドリップしたコーヒーが220円です！




※週末を中心に営業しています。営業日はこちらのSNSに掲載しています。

生活のための 日本語講座



生活に必要な日本語を学びます。自分の日本語のレベルに合わせて勉強できます。市内に住んでいる小さな子どものいる人は、子どもをあずけて勉強できます。
 詳しいことは公民館までお問い合わせください。
 公民館 ☎042 (572) 5141



ホームページからもお問い合わせできます。

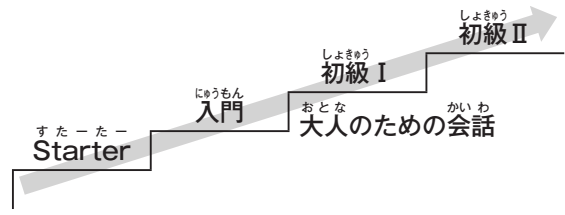
曜日 時間	火曜日 10:00~11:30	火曜日 10:00~11:30	※火曜日・夜 19:00~20:30	水曜日 10:00~11:30	水曜日 10:00~11:30	木曜日 10:00~11:30	木曜日 10:00~11:30
レベル	入門	初級Ⅱ	大人のための 会話	すたーたー Starter	初級Ⅰ	入門	初級Ⅱ
対象	ひらがなが読める人	テキスト『みんなの日本語初級Ⅰ』が終わった人	日常生活を学びたい人	ひらがなから始めます	ひらがなの読み書きができる人	ひらがなが読める人	テキスト『みんなの日本語初級Ⅱ』の35課まで終わった人
講師	友成 久恵	河村 双葉	大野 宏子 他	ディラン 恵子	北村 房子	森 恵子	大野 宏子
開始日	5月13日～	5月13日～	5月20日～	5月7日～	5月7日～	5月8日～	5月8日～

★各曜日の午前の講座が終わった後と土曜日の午前10時から、日本語ボランティアと会話の練習ができます。無料で参加できます。
 ※「大人のための会話」は2週間に1回実施します。

場所 公民館 定員 各コースとも15人くらい
費用 テキスト代 2,500円(貸出用の無料のテキストもあります。公民館に相談してください)
申込先 公民館2階窓口で申し込んでください。
 火～金曜日 9:00a.m.～5:00p.m.(祝日を除く)

レベルの目安

右にいくほど難しくなります。



Japanese classes for daily life

From 7May 2025, new semester will start.
 If you would like to join this program or for more information, please call Kominkan or come to the office (2nd floor) . ☎042 (572) 5141
 For inquiries : Tuesday to Friday, 9:00~17:00

在公民館举办的日常日语讲座将于2025/5/7开始新学期。想参加讲座或了解更多资讯，请来电公民馆或前往公民馆办公室（2楼）。
 ☎042(572)5141 咨询电话：星期二～星期五 9:00～17:00

생활을 위한 일본어 강좌
 2025년 5월 7일부터, 일본어 강좌를 시작합니다.
 참가하시고 싶은 분, 자세한 내용을 알고 싶은 분은 공민관으로 전화를 하시거나, 2층 사무실로 오셔서 문의 바랍니다. ☎042 (572) 5141
 문의 : 화요일～금요일 9:00～17:00



←日本語講座の様子



各曜日の講座終了後や、土曜日
 は、地域のボランティアスタッフ
 との会話を楽しめます →

外国からきたみなさんのための にほんごサロン

いま国立で生活している外国から来たみなさん、
 みんなで話しながら交流しませんか。
 日本文化に触れたり、国立の街のことや日本の災害のことを知ることができます。イベントを楽しみながら、日本語の会話を楽しみましょう。ぜひ気軽に参加してください。
 ＊サロンとは……交流の場、会話を楽しむ場を意味します。



←昨年のにほんごサロンの様子
 (国立の街を歩きながら、災害について学びました。)

とき おおむね第3金曜日、10:00～11:30a.m.
 ところ 公民館 3階講座室など
 申込・問合せ先 公民館 ☎042 (572) 5141
 協力: KUNIBO
 (くにたち地域外国人のための防災連絡会)



しょうがいしゃ青年教室



しょうがいしゃ青年教室は、しょうがいのある若者とない若者が共に活動して、お互いに学び合う場をつくることを目的にした青年教育事業です。一緒に活動するメンバーを募集します。

右記の6つのコースごとに、年に6～9回程度活動します。いずれか1つのコースを選んで応募してください。

また、全体でのイベント（BBQやクリスマス会など）も季節ごとに開催しており、希望に応じて参加できます。

期間 5月～来年2月（一部3月まで）。月1～2回程度

対象 市内在住・在学・在勤の学校卒業後～30歳くらいまでの「しょうがいしゃ手帳」を持つ方

申込先 4月11日（金）までの朝9時～夕5時の間に電話で公民館しょうがいしゃ青年教室担当まで（※後日面談があります）。

※コースにはそれぞれ定員がありますので、ご希望にそえない場合もあります。ご了承ください。



屋上でサンドイッチ！（YYW）



節分の鬼のお面づくり（クラフト）

♪♪♪
〈身体表現ワークショップ〉
からだであそぼう
 ーのびのびとうごくワークショップー
 ♪♪♪

のびのびとからだを動かして、自分を表現してみませんか？ まずは深呼吸をしてからだをほぐし、音楽やもの、いっしょに参加するメンバーのからだなど、毎回、いろいろなヒントを使って楽しみながら自分のイメージを豊かに表現していきます。

こころもからだも柔らかくして自分の可能性を開放し、仲間と楽しく作品を創りましょう。講座の最後には、しょうがいしゃ青年教室のクリスマス会で作品を発表します。

ファシリテーター **大川 あじさい**

〈プロフィール〉アーティスト。演劇・ダンス・絵画作品など発表。ジャンルにとらわれない独自の表現を模索・活動中。喫茶「わいがや」元スタッフ。

とき 全8回。5月24日、6月28日、7月26日、9月27日、10月25日、11月29日、12月13日 いずれも土曜日 昼2時～4時

ところ 公民館 地下ホール（場合により講座室）

対象 身体を使って表現すること、しょうがいがある人と一緒に舞台をつくることに関心がある方。年齢・国籍・性別・しょうがいの有無は問いません。※しょうがいのある方は、後日面談の場合あり。保護者の方や、ヘルパーさんの参加も歓迎！

定員 12名（申込先着順）

申込先 4月11日（金）朝9時～5月20日（火）夕5時 電話で公民館へ

コース	活動予定日	内容
スポーツ	第1土曜日 昼2時～4時	市内体育館などで様々なスポーツに挑戦します。昨年度はスポーツチャンバラや卓球を行いました。
クラフト	第4土曜日 昼1時～2時半	毎回オリジナルの工芸やアート作品を作ります。昨年度は粘土の貯金箱づくりや、書初めなどをしました。
料理	隔月第3土曜日 夕4時半～7時	いろいろな料理に挑戦します。昨年度はカレーとナンや水餃子などを作りました。
リトミック	隔月第2土曜日 さくら： 朝10時半～12時 いちよう： 昼2時～4時	さくら・いちようの2コースに分かれて活動します。音楽のリズムに合わせて身体を動かしたり、歌ったりします。
YYW	基本日曜日の午後（皆で相談して決めます）	一人ではやらないことを皆で企画して楽しいときを過ごす講座。昨年度はサンドイッチを作って屋上で食べたりボーリングに出かけるなどをしました。
喫茶実習	開店時と希望日時を調整して日程を決めます。	公民館内の「喫茶わいがや」でコーヒーを淹れるなど喫茶体験をします。

しょうがいしゃ青年教室&喫茶わいがや ボランティア随時募集中

「しょうがいしゃ青年教室」と「喫茶わいがや」は、しょうがいのある・なしに関わらず若者たちが一緒に楽しみ合い・学び合うことを目指した活動です。

しょうがいしゃ青年教室のボランティアは、活動の企画・運営をスタッフ同士や職員と協力しながら行います。喫茶わいがやでは、しょうがいのある方とともにコーヒーを淹れたりお菓子を作ったりと喫茶活動を行います。ボランティアの経験がなくても、月1回からの参加でも大丈夫！

公民館で、あなたの世界を広げてみませんか？ぜひお気軽にお問い合わせください。



市民祭への出店も（わいがや）

ところ 公民館内

喫茶わいがや、青年室ほか

対象 高校生～30代くらいまで

問合せ先・申込先

公民館へ電話またはホームページより





シルバー学習室

— 新たな発見と地域の仲間づくり —



1年間を通してさまざまなことを学びながら、同じ市内に暮らす仲間との交流を深めていく講座です。修了後には同窓会「心遊会(※)」に参加して、サークル活動を続けることもできます。

春から新しいことに挑戦してみたい方、市内での仲間づくりをしたい方、ぜひご参加ください！

と き 5月8日～2月中旬頃
毎週水曜日か木曜日 朝10時～12時
ところ 公民館 集会室ほか(料理は福祉会館、自然観察は矢川周辺や郷土文化館など、フィールドワークや公民館以外の市内施設での活動もあります)
対象 おおむね60歳以上の市内在住の方
定員 20名(年間を通して参加できる方、申込先着順)
材料費 食材や画材など実費がかかります(5,000円程度)
申込先 4月10日(木)朝9時～ 電話で公民館へ

《主な内容》*全ての講座に参加していただきます

- ◆ **健康を考えた手軽な料理**
高血圧や骨粗しょう症予防の食事などについて学びます。
講師 北川 みどり(管理栄養士)
- ◆ **くにたちの自然に目をむける(自然観察)**
春と秋に市内を歩いて、自然の移り変わりを学びます。
講師 佐藤 節子(NPO国立市動物調査会)
- ◆ **地域を知る(地域探訪)**
市内を歩き、地域の魅力的な居場所や人材を探ります。
講師 今村 和義(心遊会)
- ◆ **三原色で絵が描ける(水彩画入門)**
初心者でも描きやすい「キミ子方式」で水彩画に挑戦します。
講師 松本 一郎(キミ子方式アートスクール)
- ◆ **くにたちの昔の暮らしを知り、時代を振り返る(歴史)**
昔の道具や食事から、国立の歴史を学びます。
講師 佐伯 安子
(くにたちの暮らしを記録する会)



▲新緑の矢川緑地を散策(自然観察)

▼赤、青、黄、白で何色作れるかな?(水彩画入門)



(※)心遊会とは…シルバー学習室を修了した方たちが、学習を継続しながら、交流を深める同窓会です。心遊会の中には、11のサークル(故郷探訪、自然観察、文学鑑賞、俳句、作文、写真、水彩画、体操、盆踊り、カラオケ、麻雀)があり、興味のあるサークルで自主活動したり、心遊会が企画するイベントに参加したりすることができます。

第70回くにたち市民文化祭 参加団体募集! 第1回実行委員会のお知らせ

毎年秋に行われる「くにたち市民文化祭」に向けて、今年度も実行委員会を立ち上げて準備をしていきます。

第1回の実行委員会では、文化祭の実施や方針についての話し合いを踏まえ、発表の日時や場所を決めます。

文化祭は、美術、伝統文化、芸能など、日ごろのグループ活動の成果を発表する場です。文化を通じて交流し、仲間の輪を広げてみませんか。

今年度は10月18日(土)～11月23日(日・祝)までの期間で、参加を募集いたします。※募集状況により調整あり。

昨年度のくにたち市民文化祭の様子



【第1回 文化祭実行委員会】

と き 4月17日(木) 夜7時～
ところ 公民館 地下ホール
問合せ 公民館 ☎042(572)5141



申込フォーム

✉ sec_kominkan@city.kunitachi.lg.jp

申込先 4月15日(火)夕5時までに参加予定希望票(エントリーシート)をメール・郵送・持ち込みのいずれかで、公民館に提出してください。参加予定希望票は公民館窓口でのお渡しのほか、ホームページからもダウンロードできます。また、右上の申込フォームからも申込が可能です。※参加予定団体が多い場合は、あらかじめ事務局で日程を調整します。

※団体の代表者は実行委員会に全回出席してください。

(全4回開催予定)

※初めて参加を希望する団体は、4月15日(火)夕5時までに公民館に電話もしくはメールでご連絡ください。文化祭に関する一連の流れをご説明します。



文学講座へくたちブッククラブへ

自分と「似てるもの」／「似てないもの」

いつの時代でも人と人之间には、「言葉」を尽くしても「伝わらない思い」が立ちほだかります。「文学」にはそのような一筋縄ではない人との関係や、それによって引き起こされる複雑な感情が描き出されます。登場人物の中に自分と「似ている」ところと「似ていない」ところを見つけることもまた「文学」を読む醍醐味です。読書は基本的に孤独な営みですが、それぞれが作品と対話した結果を持ち寄ることで、また違った愉しみが生まれます。(講師の山岸さんからの言葉)
 今年は次の作品を読みたいと思います。ぜひご参加ください。

ブッククラブの
 当日や年間の流
 れはこちらのホ
 ームページから
 ご覧
 くだ
 さい。

オンライン
 受講可能

〈図書室のつどい〉

『しっぽ学』

～ひとを知りたきゃ、しっぽを知れ！～

お 話 東島 沙弥佳 (京都工芸繊維大学)

多くの動物にあって、「ヒト」にはない“しっぽ”。しかし、しっぽ博士の東島さんは、しっぽを通じて「ひと」を知ることができるといいます。

そもそもしっぽとは何なのか。我々にはなぜしっぽがないのか。「人」は創作においてどのようにしっぽを描いてきたのか。分野の壁を越えてしっぽを研究する「しっぽ学」の探求についてお話を伺います。

しっぽ好きの方も、まだそうでない方も、しっぽの奥深い世界にぜひ触れてみませんか。
 ※講師はオンライン中継でのお話です。



〈東島さんの本〉『しっぽ学』(光文社新書)

と き 5月17日(土) 昼2時～4時
 ところ 公民館 3階講座室
 定 員 会場受講30名、オンライン30名
 (いずれも申込先着順)
 申込先 4月8日(火)朝9時～
 電話またはホームページより



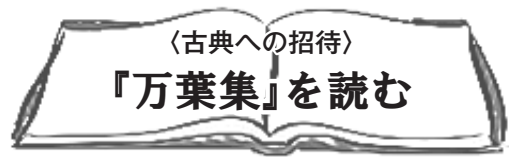
月日	作 品	講 師
5/8(木)	森鷗外『舞姫』 <small>※文庫の書名は『阿部一族・舞姫』</small>	山岸 郁子 (日本大学・日本近代文学)
6/12(木)	乗代雄介『旅する練習』 <small>(講談社文庫)</small>	大野 亮司 (亜細亜大学・日本近代文学)
7/10(木)	有吉佐和子『青い壺』 <small>(文春文庫)</small>	佐藤 泉 (青山学院大学・日本近代文学)
9/11(木)	織田作之助『夫婦善哉』(決定版) <small>(新潮文庫)</small>	尾崎 名津子 (立教大学・日本近代文学)
10/9(木)	村田沙耶香『コンビニ人間』 <small>(文春文庫)</small>	榎本 正樹 <small>(文芸評論家・現代日本文学)</small>
※11月(木)	小山田浩子『工場』 <small>(新潮文庫)</small>	深津 謙一郎 (共立女子大学・日本近代文学)
※12月(木)	中島京子『夢見る帝国図書館』 <small>(文春文庫)</small>	小平 麻衣子 <small>(慶應義塾大学・日本近代文学)</small>
1/8(木)	三島由紀夫『金閣寺』 <small>(新潮文庫)</small>	大木 志門 (東海大学・日本近代文学)

と き 夜7時半～9時半 ※11・12月は、市民文化祭の日程が決定次第お知らせします。
 ところ 公民館 3階講座室
 定 員 30名(参加多数の場合、市内在住・在学・在勤の方を優先することがあります)

申込先 4月10日(木)朝9時～ 電話またはホームページより



▲申込みフォーム



〈古典への招待〉
 『万葉集』を読む

講 師 水島 英己 (詩人)

昨年度に引き続き万葉集を読みます。万葉集を一つの歌集としてみた時、巻一から巻十六までと、巻十七から巻二十まで(家持の歌日誌と呼ばれる)に分けることができ、前者を第一部、後者を第二部と呼びます。

今回は第一部の巻一から巻六までの代表作を、巻の特徴や歴史的な事件などに触れつつ鑑賞します。巻一から巻六には万葉の初期から天平時代までの歌が載せられていて、「小万葉」とも呼ばれます。俯瞰的な視点と個々の歌への微細な読解の眼をモットーに、参加者各自が「万葉集」と「現在」との関係性を深めていく時間にしたいと思います。

〈使用するテキスト〉 各回プリントを配布します。
 〈参考資料(関心のある方向け)〉
 『万葉集』(岩波文庫)、中西進『万葉集』(講談社文庫)など

と き 5月16日、23日、30日、6月13日、20日
 (全5回) いずれも金曜日、昼2時～4時
 ところ 公民館 3階講座室 定 員 27名(申込先着順)
 申込先 市内在住の方 4月15日(火)朝9時～
 市外在住の方 4月22日(火)朝9時～
 電話で公民館へ

今月の公民館 (4月～5月)

- 4月5日(土) 昼 図書室のつどい『わたしの農継ぎ』
- 13日(日) 昼 女性の生き方を考える講座・公開講座『選択的夫婦別姓』ってなに?』
- 17日(木) 夜～ くにたち市民文化祭実行委員会
- 5月7日(水) 朝～ 生活のための日本語講座
- 8日(木) 朝～ シルバー学習室
- 8日(木) 夜～ くにたちブッククラブ 森鷗外『舞姫』
- 10日(土) 朝～ しょうがいしゃ青年教室
- 16日(金) 昼～ 古典講座『万葉集』を読む』
- 17日(土) 昼 図書室のつどい『しっぽ学』
- 22日(木) 朝～ 女性のライフデザイン
- 24日(土) 昼～ からだであそぼう -のびのびとうごくワークショップ-

講座の開催状況などに変更があった場合は、公民館入口付近への掲示や、ホームページでお知らせします。ご不明の点はお問い合わせください。公民館 ☎042(572) 5141



▲講座等の案内

ひろば



「郷土俳句会」会員募集

「療」同人岡山祐子先生指導の明るい句会です。楽しく親切にチームカラーに、初心者再挑戦者大歓迎!やさしく奥深い俳句の世界を一緒に楽しみませんか。

日時 第2月曜日 昼1時
場所 郷土文化館 第一研修室
連絡先 鈴木 090 (7188) 6574

第4回くにたちピアノデー

世界で新年から88日目をピアノデーとして祝います。国立では旧駅舎周辺で実施している音楽により街を豊かにするイベントです。今年も公民館や矢川地域でも実施です。

日時 4月19日(土)20日(日)朝10時
場所 公民館・旧駅舎・矢川プラズ他
連絡先 北村 090 (3108) 2021

ソフトテニスへのお誘い

ウイークデーを中心に楽しい汗を流しています。日頃の運動不足とストレスを解消し一緒にテニスをしませんか。男女問わず経験者大歓迎です。国立スピカ

日時 毎週(火)谷保、(木)広場コート
場所 市内の各テニスコート
連絡先 野和田 080 (1754) 3496

くにたち市民オーケストラ

第47回ファミリリーコンサート
ロッシニー「セビリアの理髪師」
序曲ビゼー「カルメン」よりリムスキーコルサコフ「シエララザード」指揮 湯川紘恵 入場無料
日時 4月20日(日) 昼2時開演
場所 一橋大学兼松講堂
連絡先 事務局 080 (546) 9292

気候変動を知ろう!

酷暑・豪雨・大雪……。次々やってくる災害級の異常気象。有効な対策は?持続可能な社会を残すための取組について学びます。講師 山上真依さん。主催 スペースF
日時 4月26日(土)昼1時半～4時
場所 公民館講座室 資料代500円
連絡先 事務局 042 (576) 4414

くにたち国際友好会 W I N G

4月の国際理解講座は、電気通信大と一橋大の大学院修了後、日本企業を経て母国で起業されているアルナ・クマラさんに、スリランカのお話をさせていただきます。
日時 4月26日(土) 夜7時～9時
場所 公民館中集會室&ウエブ
連絡先 西江 070 (9020) 7838

くにたち混声合唱団ときわ

皆さんと一緒に歌う公開練習懐かしいポップス・オペラアリアを合唱で、星野富弘詩による楽曲も予定。声を歌にのせ心も身体もリフレッシュしましょう!無料。
日時 5月11日(日) 昼3時～5時
場所 国立A1スタジオ集會室
連絡先 深町 090 (859) 2444

夕靄書道会

「ゆうとどろき」平安朝に想いを馳せるような響きのある言葉。広辞苑によると、「恋情などのため暮れ方に胸さわわくこと」とある。なんとロマンチック! この名前は、講師の書道家、池田聡翠先生がつけたそう。

この書道会は、昨年11月に発足したばかりで、現在会員は11名程。午前9時から10時半と10時半から12時の2部制だ。

会員の方々は、かな文字、漢字、実用書(祝儀袋等)など好きな課題を練習し、先生に指導を受ける。硯で墨をする本格派の方から筆ペンでとさらさらと書く方と、さまざまである。集會室が静かで落ち着いた気で満たされ、皆さんの集中力にこちらも背筋が伸びる。

「小筆一本で日々の暮らしを豊かに」が、会のモットー。代表の清水正子さんは、「長年、かな文字の勉強を続けていたものを深く見る感性が育ちました。若い方、特に子育て中の方にぜひ書の世界を楽しんでほしい」とおっしゃる。子連れ参加も大丈夫とのことだ。

昨今はメールばかりで、手紙を書く事がほとんどなくなりました。しかし、手書きの便りをいただくと、その字から相手の姿が目に見え、本当に嬉しいものだ。まして筆で書かれていたらなおさ

ら感激するだろう。

先生は「上手でなくてもいいのです。それも個性になりますから。丁寧に書いて、それが伝わる事が大切ですね」と優しくおっしゃった。

ゆっくり丁寧に生活する時間が失われつつある現代、書道の意味は奥深いと痛感した。筆一本で広がる世界を、ぜひのぞいてみてほしい。

日時 毎月第1火曜日 午前中
場所 公民館
参加費 月額1500円程度
連絡先 清水 080 (503) 2328
〈文・写真 公民館だより 編集研究委員 高木 裕子〉



凛とした空気の中で

代表・清水さんの作品

